Rotary HIGASHI-OSAKA EAST R.C.
国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2706

国際ロータリー会長
シェカール・メータ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長 河村 幸司

「会員基盤の増強、
楽しい親睦と奉仕
そして教育の支援を」

平和構築と紛争予防月間

例会日：2022年2月10日
（令和4年2月10日）

今日の例会 2022年2月10日

■ 本日の卓話
「コロナ禍での生活様式について」
鳥居 善太郎 君

■ 今日の歌 「我等の生業」

来週の例会

■ 2月17日（木）
卓話 「 新型コロナ 」
水上 雅博 君

会長の時間

城戸副会長（代理）

ロータリークラブは 私たちに 活動を通じて様々な機会を与えてくれ ます 。
しかし機会は与えられるが受手 によってその選択は様々で 結果 ロータリアンとして充実した ロータリー ライフを送れるか否かの分かれ道になる こともあります。
ご縁があって入会し ながら活動 出来ずにいるのは 事情があるにせよ もったいない 事だ と思います。更に時間を作って参加しないと 徐々に 足が 遠のき ます。
自分は同じやるな ら自分なりに積極的に参加し組織に馴染みたい と考えます。
仕事も趣味も奉仕活動も出来る限り一生懸命取り組みたい と思っています。
それは次のような考え方によるものです。
浅間山荘事件で 有名な 佐々淳行氏 の 著書「後藤田正晴と 十二人の総理たち 」（もう鳴らないゴッド・フォン）の中で「 危機管理 」について次のように述べておられます。危機管理の本質は、アメリカのプラグマティスとの哲学者ウィリアム・ジェームスの『宗教的経験の諸相』の一節に語りつくされている。「何か重大なことが起きたとき、人は皆誰かがこのことについて何かしなければならない と考える。だが自ら進んで何かをやる人は極めて少ない。大部分の人は、誰かが何かをしなければいけない、だが、なぜ私が ＜ホワイ・シュッド・アイ＞と自問する。ごく少数の人は ＜ホワイ・シュッドント ・ アイ なぜ私がやらなくていいのか＞と自問する。この二つの自問自答の間に人類の道徳的進化の過程が横たわっている」と。
新たな機会に巡り合えた時私はいつも＜ホワイ・シュッドント・アイ この言葉を思い浮かべます。私は 後者であり続けたいと考えています。
今年度副会長としての機会を与えていただき経験の浅い私がなぜ？と 感じましたが、自分がやらなくていいのか？との自問自答の末喜んでお引き受けさせていただきました。
ロータリアンとして知識も経験も不十分で未熟な私ですが、皆様から温かいご指導ご鞭撻を 頂戴し少しでも当クラブのお役に立てればと考えておりますので 引き続き どうぞ宜しくお願い申し上げます。

幹事報告　古川幹事

≪これからの予定≫
【1】 2/19(土)移動例会・IIM第4組ロータリーデー
【2】 2/22(火)衛星クラブ例会→2/19振替休会
【3】 2/24(木)2/19振替休会
＜連絡事項＞
【1】 2022-23年度ロータリー手帳の購入ご希望の方は、事務局までお申込み下さい。
【2】 2/19(土)の移動例会につきましては、コロナの状況を踏まえて本日再検討し、改めて開催のご案内を送付させていただきます。何卒ご理解、ご協力のほどお願いいたします。

ロータリーの友　2022年2月号記事紹介

広報委員会
広報・雑誌担当　井上　家昌

コロナ　オミクロン株の急拡大の中、例月の様に当地区吉川秀隆ガバナーより「ロータリーの友」の重点記事を御紹介の上、会員の皆様にロータリーの知識を広め、クラブ活性化の情報源として、役立てていただきたいとご連絡がありましたのでご報告いたします。

[横組記事から]
(p.5)”シエカール・メータRI会長メッセージ“
２月２３日は、ロータリーの創立記念日です。青年弁護士ポール　ハリスは友人３人とアメリカ　シカゴでロータリーを設立しました。メータ会長は、これを機会に、「ロータリー奉仕デー」を実施するよう呼びけています。
ロータリーの重点分野に含まれる地域社会の課題にロータリーファミリーだけでなく、他のボランティアの人々も一緒に取り組もうというものです。
(p7-13)”平和構築と紛争予防月間―青少年交換は未来平和へのギフト“
２月は「平和構築と紛争予防月間です。“青少年交換は国際理解と親善の精神を育み、平和を推進するため１５～１９歳の青少年に外国での異文化体験の機会を提供するロータリーのプログラムで、日本では、１９６２年に開始されました。
RIは、青少年交換について、異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現出来ると信じています。
(p２７－２９)“ガイ散策第８回：ロータリアンの利益”
マンガ絵と一緒にガイ・ガンディガーの著書を紹介されており、日本でロータリーを学ぶ教科書として使われた「ロータリーの通解」(A Talking Knowledge of Rotary)について解説していきます。
今月は「ロータリアンの利益とは、自分自身の人間性の向上と奉仕による社会の向上であり、志を同じくする仲間と友情をはぐくみ奉仕・人生を語り合い、共に学び、奉仕の実践を通じて、より良い社会を作り、より高きを目指して、人間として成長する。これが真のロータリアンの在り姿であり、クラブは、そのようなロータリアンを育てる場」というのがガイ・ガンディガーの考え方です。
その他重要記事の紹介がありますが、クラブ週報の紙面の関係で省略させていただきますので,
スマートフォンから容易にアクセスできる「電子版」をご利用下さい。(ログインのID・パスワードは「rotary」です。

出席報告　2月3日

先週(2/3)の出席者数：24名（1）／ZOOM

2/3出席率：50.00%

※（　）内数字は出席免除会員の出席者数
会員：57名（免除12名）

	1/13	1/20	1/27
HC出席	28(2)名	31(3)名	25(1)名
MU出席	6(1)名	5(0)名	6(2)名
修正出席率	70.83%	75.00%	65.00%